

CIMAC EEC WG 国内対応委員会 第35回議事録案

1. 日時：2023年2月2日(木) 13:40~17:00 (Online 会議)

2. 出席者：〔名〕〔順不同，敬称略〕

主査 佐藤純一 (IHI 原動機)

委員の出席

氏名	所属	氏名	所属
前田 育靖	ウッドワードジャパン合同会社	畑本 郁彦	日本内航海運組合総連合会
山本 寛一	川崎重工業(株)	島田 一孝	(株)三井 E&S マシナリー
伊藤 和久	(株)ジャパンエンジンコーポレーション	小林 喜美頼	ヤンマーパワーテクノロジー(株)
花本 健一	ダイハツディーゼル(株)	佐々木 慶典	ヤンマーパワーテクノロジー(株)
瀧本 崇弘	(株)IHI 原動機	川上 雅由	日本内燃機関連合会
佐藤 宙基	(一財) 日本海事協会	上原 由美	日本内燃機関連合会
文屋 孝哉	(一社) 日本船用工業会	—	—

3. 配布資料

- 35-1 第34 EEC 国内対応委員会議事録案
- 35-2 CIMAC WG5 第73回国際会議
- 35-3 Daphne Technology 紹介
- 34-4 アジア規制動向
- 34-5 中国規制動向
- 34-6 CIMAC GHG Strategy Group の紹介
- 34-7 陸用プラント規制動向
- 34-8 IMO と EU の動向
- 34-9 EU 内陸河川船舶規制動向
- 35-10 国交省 MEPC79 概要
- 35-11 WG19 内陸河川船舶国際会議

4. 出席確認と自己紹介

出席確認を含め参加委員の自己紹介を行った後に佐藤の司会により，次の議事を行った。

5. 第34 EEC 国内対応委員会議事録

7. その他 (2) CIMAC 内陸河川船舶 WG19 動向記載の日内連「技法」を「情報」に修正することで承認された。修正版は日内連の委員用のホームページにアップしている。

6. 2022年11月に開催されたWG5国際会議報告（佐藤主査）

資料35-2～35-9に基づいて、以下報告を行った。

(1) Daphne Technology 紹介

新メンバーであるDaphne Technologyの会社概要を紹介した。

(2) アジアおよび日本の規制動向

中国のGHG削減の政策、CCSが公表したNO_xやSO_x規制の動向、シンガポールの港でのGHG削減のインセンティブについて報告した。

質疑1：中国のNO_xとSO_x規制はIMOに申請するのか。

→中国の国内法である。

(3) 中国規制動向

日内連情報NO. 122のCIMAC内陸河川船舶WG19動向と同じ内容につき資料の概要を報告した。

(4) CIMAC GHG Strategy Group の紹介

3つのワーキング（再生可能エネルギーのビジネスモデル、インフラと可用性のための資金、既存船対応）が開始された。WG2（船級）、WG5、WG7（燃料）、WG17（ガス機関）、WG21（推進装置）と協力し、白書やポジションペーパーの発行計画について報告した。

コメント：ワーキンググループ、ストラテジーグループ、サブグループの略称について別途決定するコメントがあった。

(5) 陸用プラント規制動向

EUタクソノミーの概要と定置式エンジンに関する内容を報告した。

(6) バイオ燃料とNO_x

資料35-2にて国際会議での議論内容を報告した。

(7) IMOとEUの動向

IMOのブラックカーボン、Multiple engine operational profiles、メタンとLCAガイドライン、IMOの今後の予定について報告した。

EUの動向はFuelEU海事、RED IIの状況を報告した。

質疑1：400GTを超える船舶の件は採択された情報がある。

回答：別途調査したDNVの2023年1月の情報では以下である。

2024年から、EU ETSには、商業目的で貨物または乗客を輸送する5000GTを超える船舶が含まれる。EU MRV制度は2025年から拡張され、400GTを超えるオフショア船と、商用目的で貨物を輸送する400～5000GTの一般貨物船に適用される。5000GTを超えるオフショア船は、2027年からETSに含まれる。2026年までに、欧州委員会は、400～5000GTの一般貨物およびオフショア船もETSに含めるかどうかを検討する。

Type	サイズ(GT)	EU MRV	EU ETS
商業目的で貨物または乗客船	5000+	In force	2024
一般貨物およびオフショア船	400-5000	2025	検討中
オフショア船	5000+	2025	2027

(8) EU 内陸河川船舶規制動向

EU Stage V (2016/1628) の最新の改正概要として IWT エンジン カテゴリのサービス モニタリングの概要を報告した。

7. その他

(1) 国交省 MEPC79 概要 (島田委員)

国交省作成の MEPC79 のプレスリリース資料により概要の報告があった。

質疑 1 : IMO の議長は交代されたか

→リベリア代表の方が選出された。

(2) CIMAC 内陸河川船舶 WG19 動向 (WG19 国内対応委員会主査)

2022 年 12 月開催の WG19 について日内連情報 NO. 1 2 3 を基に報告があった。

次回の WG19 国際会議は 6 月の CIMAC 釜山大会に合わせ開催予定である。

(3) WG5 にて 4 つのサブグループ活動

4 つのサブグループ活動の概要を報告した。

(4) 次回の WG5 国際会議は中間で 2 月 14 日にウェブ開催、5 月 30 日、31 日にフィンランドのヴァーサで開催予定である。

(5) 日内連からの連絡

Webinar 「将来の内燃機関開発におけるコンポーネント、付属機器メーカーの取り組み最新動向」、CIMAC 釜山大会の紹介があった。

8. 次回の国内対応委員会の開催 :

以下期日を候補として会議室の状況、新型コロナの感染状況により対面、Online もしくは両方を併用したハイブリットも検討する。

2023 年 8 月 31 日 (木)、9 月 1 日 (金)、9 月 7 日 (木)、9 月 8 日 (金)

以上